

平成21年度

「環境保全・地域貢献報告書」



◇ 目 次

1. 当行の概要について
2. 当行の《経営方針》について
3. 当行の《環境方針》について
4. 「環境マネジメントシステム」の運用について
5. 環境負荷の軽減について
6. 環境ビジネスについて
7. 地域貢献活動について
8. 環境保全活動の歩みについて

1. 当行の概要について

| | |
|--------|-------------------|
| ・本店所在地 | 大阪府中央区西心齋橋1丁目2番4号 |
| ・創立 | 大正11年7月 |
| ・資本金 | 470億円 |
| ・店舗数 | 147支店、他23出張所 |

「**関西をもっと元気に!**」をスローガンとして、地元関西において存在感の高い広域地方銀行の実現を目指してまいります。

そのためにお客さま満足度とブランド力を向上する業務運営に徹底して取り組み、それを可能とする銀行体力の強化と人材育成に努めると共に、環境行動を含めた社会的責任を果たします。

※ 旧「株式会社びわこ銀行」の本店ビルを『びわこ本部』として位置付け、大津市との環境保全協定の地位を承継しています。

2. 当行の《経営方針》について

1. 地域に密着した真に一流のリージョナルバンクへの挑戦


～地域重視、お客さま重視の徹底により、お客さまに信頼されお役に立つ、
地域と共存共栄する銀行を目指します～

2. 高い経営効率と強靱な経営体力の構築

～強固な顧客基盤の確立と健全かつ効率的経営によって持続的安定成長を
実現し、企業価値向上を目指します～

3. 活力溢れる逞しい人材集団の形成

～風通しのよい自由闊達な企業風土を醸成し、お客さまに信頼される逞しい
人材の育成に努めます～



3. 当行の《環境方針》について

関西アーバン銀行 環境方針

基本理念

関西アーバン銀行は、事業活動を通じて地球環境の維持と改善に努め、地域社会との共生を目指します。

環境方針

1. 地球環境の維持向上に貢献できる商品・情報・ソリューションの提供を通じてお客さまの環境問題への対応をご支援します。
2. 省資源、省エネルギー、廃棄物の削減など、環境に配慮した活動の実践により持続可能な社会の形成及び汚染の予防に努めます。
3. 環境関連法令・規則および同意したその他要求事項を遵守します。

3. 当行の《環境方針》について

関西アーバン銀行 環境方針

4. 環境に関する情報を開示し、社内外との対話を通じて環境保全活動の継続的な改善を図ります。
5. 本方針の社員への徹底と社内教育に努めます。
6. 「環境経営」を積極的、かつ効果的に実践するために、各事業年度に目的・目標を設定し、それらの見直しを行い、取り組みの継続的な改善に努めます。
7. 本方針は、当社ホームページ等で公表し、外部からの要請があれば配付を行います。

制定 平成22年3月1日

株式会社 関西アーバン銀行

4. 「環境マネジメントシステム」の運用について

《環境負荷の軽減》

平成13年1月より「ISO14001」認証継続

対象：びわこ本部、びわこ事務センター
(大津市内の営業店を除く)

「省エネ、省資源活動」

- ◇電気使用量の削減
- ◇紙使用量の削減

「ゼロ・エミッションへの挑戦」

- ◇廃棄ゴミ(紙焼却)の削減
- ◇リサイクル率の向上

「グリーン購入」

《環境ビジネス》

「環境関連商品」の取り扱い

《地域貢献活動》

「環境保全団体への寄付」

「ボランティア活動支援」

- ◇「びわ湖の日」環境美化活動
- ◇「エコ・カップ」スポーツ大会への協賛

5. 環境負荷の軽減について

<平成21年度目標および結果について>

対象：びわこ本部、びわこ事務センター
(大津市内の営業店を除く)

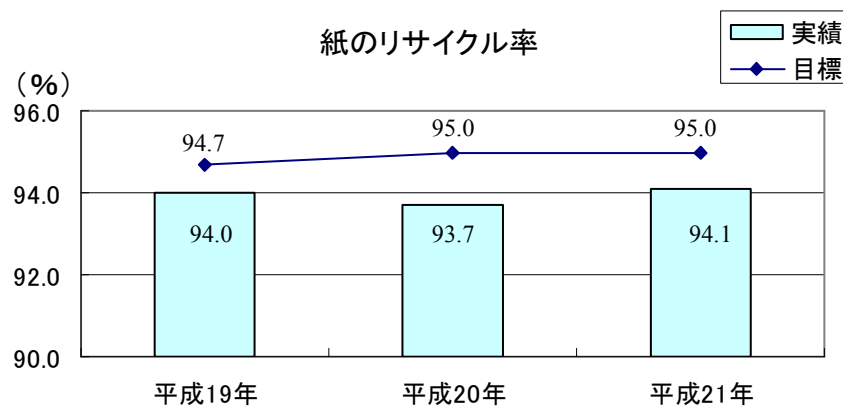
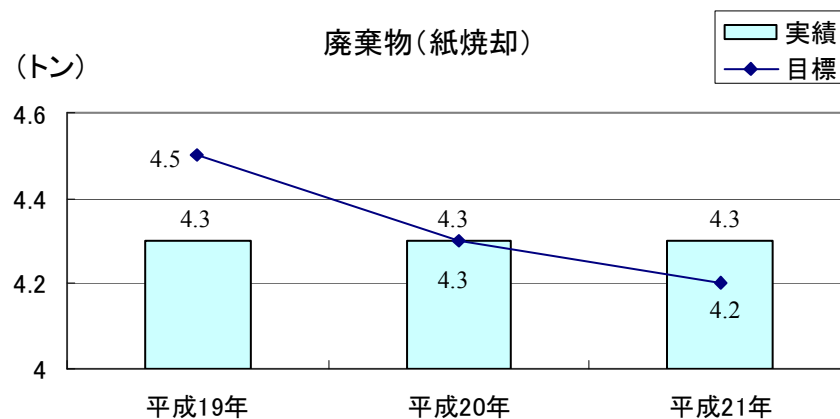
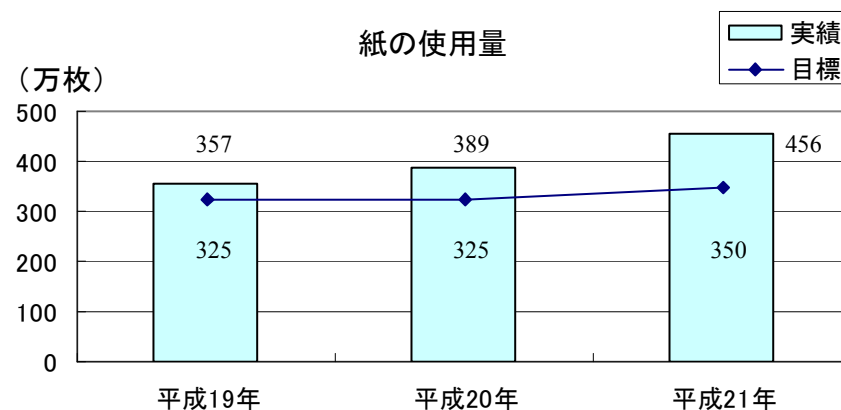
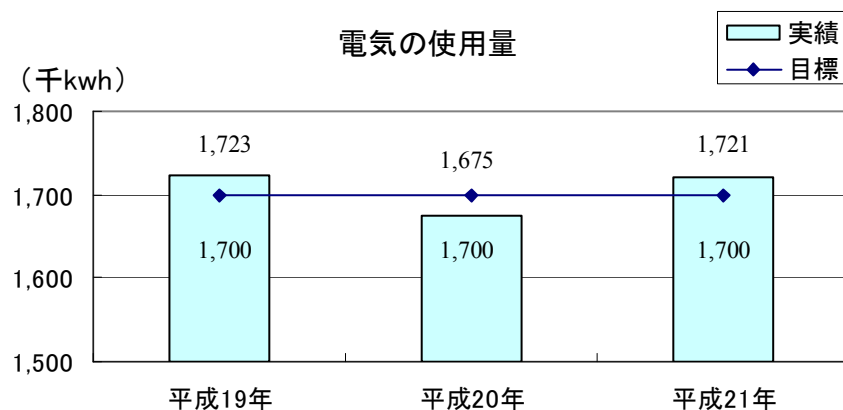
| 目標 | | 結果 | 評価 | 備考 |
|-----------------|-----------------------|---------------------|----|--|
| 省エネ活動 | 電気の使用量 170万kwh | 172万kwh 前年比+2.7% | △ | 21年度は合併等の要因により、前年より若干増加しました。 |
| 省資源活動 | 紙の使用量 350万枚 | 456万枚 前年比+17% | × | 21年度は合併等の要因により、前年より増加しました。 |
| ゼロ・エミッション 挑戦 | 廃棄物(焼却紙) 4.2トン | 4.3トン 前年比±0% | △ | 分別の徹底でゴミを削減しました。 目標には達しませんでした、前年並みの実績でした。 |
| | 紙のリサイクル率向上 95% | 94.1% 前年比+0.4% | △ | リサイクル啓発活動を徹底したことにより、前年よりわずかに向上しました。 |
| グリーン購入 | 特定商品のグリーン購入率 96.5% | 97.3% 前年比+1.4% | ○ | グリーン購入を徹底した結果、目標を達成しました。 |

※「電気の使用量」「紙の使用量」「廃棄物(焼却紙)」の項目につきましては、平成22年度は『びわこ本部・びわこ事務センター』の人員減少と前年度の特異要因(合併)を考慮のうえ、平成21年度実績より削減した目標を設定し推進します。

5. 環境負荷の軽減について

<主要計数の推移>

対象：びわこ本部、びわこ事務センター
(大津市内の営業店を除く)

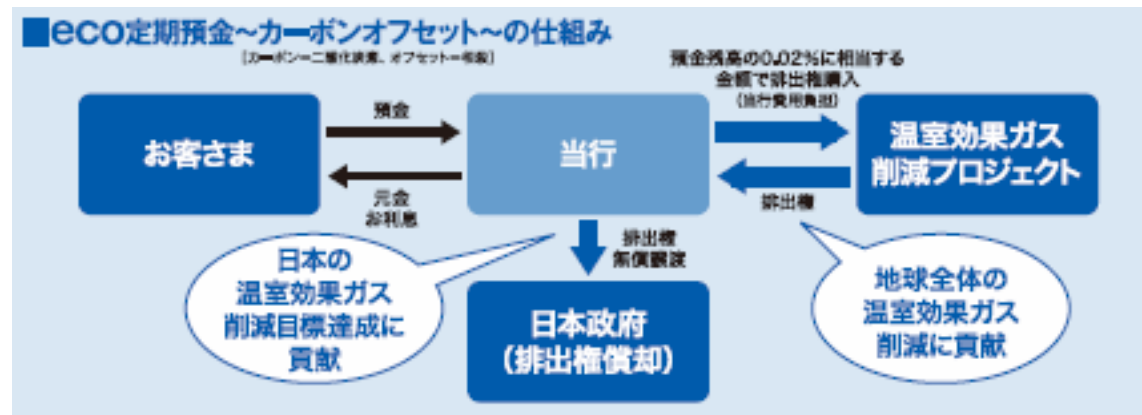


6. 環境ビジネスについて

◆「eco定期預金～カーボンオフセット～」

平成21年9月1日から平成22年2月26日まで取り扱いましたところ、残高は386億円（うち、旧びわこ銀行の残高は69億円）となりました。

平成22年2月末の同定期預金残高386億円の0.02%に相当する金額により、CO2排出権「2,148トン」を購入し、平成22年5月に日本政府へ無償譲渡しました。（費用は当行負担）



◆「eco定期預金～マザーレイク～」

平成22年3月1日から本商品を取り扱っております。

これは、お客さまからお預かりしました本定期預金について、平成23年2月末残高の0.01%に相当する金額を滋賀県「マザーレイク滋賀応援基金」に寄付するものです。（費用は当行負担）

7. 地域貢献活動について

◆〔環境保全団体への寄付〕

お預りした預金残高の一定割合を環境保全団体に寄付する「エコ定期預金」の取り扱いにより、今年度は4団体に合計390万円を寄付いたしました。この結果、平成15年度からの寄付の累計金額は約38百万円となりました。

◆〔ボランティア活動支援〕

「びわ湖の日」環境美化活動

当行は、地域の清掃活動や植樹活動などの環境保全活動を永年にわたり実施しています。

平成21年度も「びわ湖の日（7月1日）」に滋賀県庁や地元企業の皆さまと一緒に琵琶湖環境美化活動に参加いたしました。

「エコ・カップ」スポーツ大会協賛

当行は、地域の子供たちの健全な成長を願い、スポーツ大会への協賛を行っています。

また、「エコ・カップ」として、参加者からペットボトルのキャップを集めてリサイクルする活動を行なうほか、関係者の協力を得て「温暖化防止啓発活動」の実施やカーボン・オフセットの仕組みを取り入れ、環境啓発型大会としています。

8. 環境保全活動の歩みについて

対象：旧びわこ銀行の活動 平成22年2月まで
 新関西アーバン銀行の活動 平成22年3月から

| 年月 | 取組内容 |
|----------|---|
| 昭和50年 | 第26回全国植樹祭を記念し、毎年春と秋に滋賀県緑化推進会を通じ苗木を学校や神社・仏閣に寄贈開始 |
| 平成13年1月 | ISO14001認証取得(第二地銀初)。審査登録機関:(財)日本品質保証機構《JQA》 |
| 平成16年12月 | 日経環境経営度ランキング・金融部門第1位 |
| 平成18年12月 | 平成18年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞 <環境省> |
| 平成19年6月 | 環境シンポジウム開催「環境問題をお金の流れ(金融)から考える」(主催:環境省、当行) |
| 平成19年7月 | チームマイナス6%「1人、1日、1kgCO2削減」応援キャンペーン、協賛企業第1号として参加 |
| 平成20年7月 | 環境大臣より「エコ・ファースト制度」業界のトップランナーとして環境先進企業に認定 |
| 平成21年4月 | 参議院「環境委員会」で当行の環境関連活動について報告 |
| 平成21年6月 | クールビズ運動開始、ライトダウン・キャンペーンに参画 |
| 平成21年7月 | 「びわ湖の日」環境美化活動に参加 |
| 平成21年8月 | 「びわ銀エコ・カップ」第17回手島杯争奪学童野球大会開催 |
| 平成21年9月 | 「eco定期預金～カーボン・オフセット～」販売開始 |
| 平成21年12月 | 「びわ銀エコ・カップ」第15回滋賀県中学生卓球大会 |
| 平成22年1月 | 「環境格付融資」の取り扱いを開始 |
| 平成22年3月 | 「基本理念」「環境方針」の制定 |
| 平成22年3月 | 「eco定期預金～マザーレイク～」販売開始 |